

(広報資料)

平成25年4月19日

総合企画局

担当：市民協働政策推進室
市民協働担当
TEL 222-3178

第4期京都市未来まちづくり100人委員会 第12回定例会議の開催について

～実践行動に向けて、年間行動報告書の作成に取り掛かります！～

京都市では、京都の未来を築くため、幅広い分野の市民が参加して、市民主体のまちづくりを推進することを目的に、「京都市未来まちづくり100人委員会（以下「100人委員会」という。）」を平成20年9月に創設しました。これまで、京都のまちづくりについて市民自らテーマを設定し、多様な観点から議論し、その結果を提言するとともに、自ら発信・実践を行っており、昨年5月から第4期の活動がスタートしています。

第12回定例会議では、16の「重点テーマ（別紙参照）」ごとに編成したチームが、「中間報告会」でチーム以外のメンバーや傍聴者からのアドバイスを基に、実践行動に向けた年間行動計画書の作成に取り掛かるなど、熱い議論を繰り広げます。

1 日 時

平成25年4月27日（土） 午後1時～午後4時30分

2 会 場

京都御池創生館 地下1階 研修室（中京区御池通柳馬場東入）

3 内容（予定）

- ・前回の振り返り
- ・実践行動に向けた各種調査や検討
- ・年間行動計画書の作成

4 傍聴方法等

（1）会議は公開とし、傍聴席を設けますので、傍聴希望者は、直接会場にお越しください。

※ 会場に駐車場はありませんので、お越しの際は、市バス・地下鉄等公共交通機関を御利用ください。

（2）記者席は、傍聴席とは別に設けます。

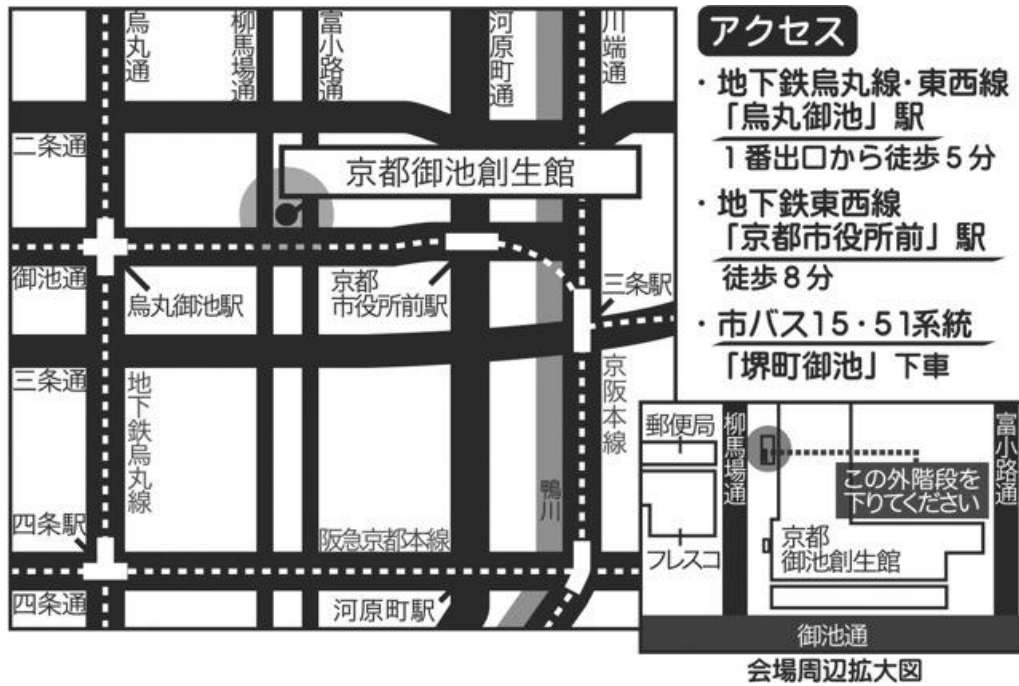
5 その他

- ・第4期活動の詳細は、次のホームページ、Facebook ページをご覧ください。

ホームページ：<http://kyo-mirai.jp/>

Facebook：<http://www.facebook.com/kyoto100>

<会場案内図>



(参考) 16の「重点テーマ」について

<活気のある地域づくり>

①ご近所同士の顔が見える関係のあるまち京都

地域での住民同士の関わり方について考え、住民の交流を深めるプロジェクトです。

②地域にある場所や空間がもっといきるまち京都

誰もが集える「まちの居場所」の再発見を目指すプロジェクトです。

③地域でシニア層がもっと活躍するまち京都

高齢者の力がもっといきるまちづくりを目指すプロジェクトです。

④クリーンエネルギーが地域に広がるまち京都

環境保全につながる自然エネルギーを地域に広げていくことを目指すプロジェクトです。

<観光・文化の発信>

⑤観光都市としての魅力を市民が発信するまち京都

観光で京都を訪れる人に対する“おもてなし”の向上に市民主導で取り組むプロジェクトです。

⑥寺社や文化財が市民にもっと身近なまち京都

神社仏閣を地域資源として見直したり、観光寺院と市民との交流を目指すプロジェクトです。

⑦伝統文化の本物を市民が知り伝えるまち京都

京都に受け継がれてきた文化の継承を市民主導でさらに進めていくプロジェクトです。

⑧京の食文化を市民が考え伝えるまち京都

京の食文化や食の安全性について市民みんなで考え、伝えていくプロジェクトです。

<子育て・福祉>

⑨子どもたちを地域のシニア層が支えるまち京都

子どもたちを地域のみんなで（とりわけ子育て経験豊富なシニア層が）支えるまちづくりを目指すプロジェクトです。

⑩子育て中の親も若者も働きやすいまち京都

働くお母さん・お父さんのサポートや、若い人たちの雇用の機会がより広がることを目指すプロジェクトです。

⑪市民の「福祉・介護」への関心と理解が深いまち京都

福祉・介護のサービスを受ける人や働く人の状況や制度について、正しい理解を広めていくプロジェクトです。

⑫誰もが社会の一員として尊重されるまち京都

認知症のある方、障がいのある方、医療的ケアを必要とする方など誰もが安心して気持ちよく暮らせるまちづくりを目指すプロジェクトです。

<魅力的なまちづくり>

⑬市民が公共空間を大切にするまち京都

京都市民としてのルール・マナー、モラルについて再考し、みんなが快適に過ごせる空間づくりを目指すプロジェクトです。

⑭自転車と共存するまち京都

自転車にも歩行者にもやさしいまちづくりを目指すプロジェクトです。

⑮公共交通がもっと便利に快適になるまち京都

バスなどの公共交通に関する課題を市民主導で解決することを目指すプロジェクトです。

⑯外国人にとって住みやすいまち京都

多文化共生のまちづくりを目指すプロジェクトです。